取組事例　将来にわたり“住み続けたい”と思うまちをつくる

（遠軽町）

遠軽町では、遠軽紋別地域の中心地としての役割を果たすため、医療や公共交通の確保、教育の充実などを図り、将来にわたり住み続けたいと思うまちづくりを目指し、産婦人科医師の確保や遠軽町、佐呂間町及び湧別町以外からの遠軽高等学校への入学者数増加などに力を入れて取り組んでいる。

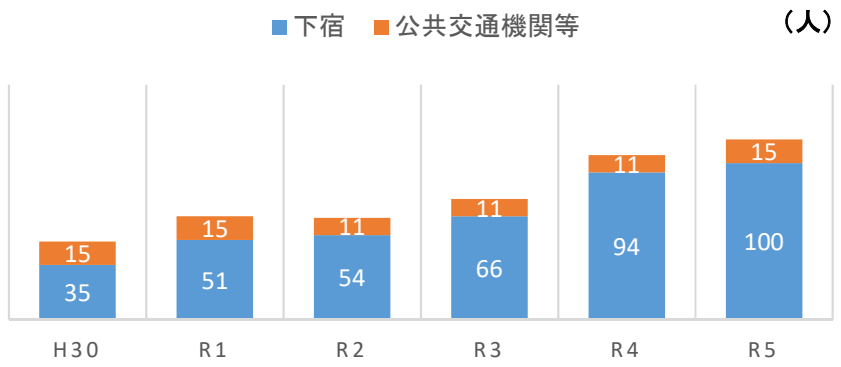
関連数値目標・KPI

	基準値（H30）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
町内の医師数	50人	47人	53人	88.7%
遠軽地域外からの遠軽高等学校入学者数	20人	38人	30人	126.6%

取組の推進体制

遠軽町、佐呂間町、湧別町の３町で締結した遠軽地区連携地域の形成に関する協定に基づき、「医療」や「産業振興」などに関する取組を実施し、地域住民に必要な生活機能の確保及び地域の活性化を図るとともに、安心して暮らし続けられる地域づくりを進める。

遠軽町、佐呂間町、湧別町以外からの遠軽高校通学者の状況



支援制度の開始により、下宿利用による遠軽高校生徒が増加　※　通学圏外からの入学者が増えている

取組事例　医療と教育の確保

地域を支える医療・保健・福祉サービスの確保

○主な取組
- 医師募集webサイトによる産婦人科医師募集
- 新聞紙面による産婦人科医師募集
- 遠軽厚生病院存続のための支援

○主な成果
　様々な支援により遠軽厚生病院の常勤産婦人科医師の確保とともに、遠軽厚生病院の産婦人科以外の診療科も維持している。

教育環境の整備

○主な取組
- 遠軽町、佐呂間町、湧別町以外からの遠軽高校通学者等支援
- 進学・就学のためのオンデマンド学習支援
- 部活動等における貸切バス借り上げに対する支援

○主な成果
　少子化により、地域の生徒数が減少する中、地域外からの入学者を確保することで、遠軽高校全日制の定員２００人を確保している。